クイックガイド

デジタルオーディオプレーヤー

型名
XA-C210-S/-B/-W
XA-C110-S/-B/-W
XA-C51-S/-B/-W

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

このクイックガイドとCD-ROMに収録されている取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、付属のCD-ROMと共に大切に保管してください。
また、**クイックガイド**の「**安全にご使用いただくために**」(⇨8、9ページ)も必ずお読みいただき、安全にお使いください。

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報などの提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT1693-001B

特長

高音質再生
・ オリジナル高音質化技術「K2テクノロジー」搭載。

WMA-DRM10(著作権保護付)対応
・ インターネット定額音楽配信サービス対応。

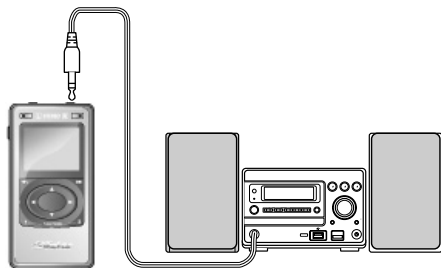
本機のWMA-DRM10ファイルをコンポのデジタル高音質で楽しめるUSBデジタルメディアストリーミング対応。

多彩な対応フォーマット(MP3/WMA/AAC/WAV)

ギャップレス再生
・ 曲間の無音部分をなくして再生します。

MNR(マルチバンド・オプチマム・ノイズリダクション)
・ バックグラウンドノイズなどを低減して再生します。

リニアPCM、WMAによる高音質録音(LINE入力、内蔵L/R独立マイク)

外部機器からのダイレクト録音

■ 試聴用サンプル楽曲プリインストールのお知らせ

本機は試聴用サンプル楽曲をプリインストールしております。プリインストールされている楽曲データは、日本ビクター株式会社とビクターエンタテインメント株式会社が共同開発した圧縮音源の高音質技術「net K2」net K2を使用して生成されております。本機の高音質をぜひお楽しみください。
「net K2」net K2は日本ビクター株式会社の商標です。

<サンプル楽曲>「Stories of Life」～ビクターオリジナル曲

> 本機にプリインストールされた楽曲ファイルが何らかの原因により失われた場合、修理した場合の補償についてはご容赦ください。

本製品について

- 本機をお買い上げいただきましたら、まず本機の充電を行ってください。(⇨15ページ)
- 操作ができなくなったときや、パソコンとの接続がうまくいかないときは、本機のリセットを行ってください。(⇨76ページ)
- 本機をパソコンに接続する前に、必ずWindows Media Player 10(付属のCD-ROMに収録)をパソコンにインストールしてください。(⇨12ページ)

本書はクイックガイドです。よく使う機能や基本操作について説明しています。
本機のすべての機能を知りたいときや、より詳しい操作説明については、CD-ROMに収録された取扱説明書をご覧ください。

* 本製品で記録したものを「私的な目的」以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
* 何らかの不具合により、正常に録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
* 大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをおすすめいたします。

もくじ

もくじ(つづき)

録音する

FMラジオを聴く

録音ファイルを再生する

その他

困ったときは

付録

安全にご使用いただくために

絵表示について

本書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じる」内容を示しています。
⚠ 警告	この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

⚠ 警告

■ **自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない**

- 運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
- また、歩きながら（特に踏切や横断歩道など）使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ **分解・改造しない**

- 内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
- 点検や修理は販売店にご依頼ください。

■ **幼児、子どもの手の届く場所に放置しない**

- 誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

⚠ 注意

■ 大音量や長時間つづけて聴きすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は少しずつ上げましょう。

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない

- 機器に水がかかる場所(風呂場や台所など)で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となります。

使用上のご注意

■ 本機の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となります。

- 窓を閉め切った自動車の中(とくに夏期)
- 風呂場など湿気の多いところ
- ホコリの多いところ
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く
- 腐食性のガスなどが発生するところ

■ 航空機の中では電源を入れないでください

機内の電子機器に影響を与える可能性があります。機内では必ず電源を切っておいてください。

■ 落としたり強い衝撃を加えないでください

破損や故障の原因になることがあります。

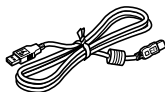
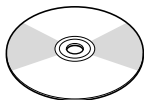
■ 汗や水に濡れた手で操作しないでください

感電や電子回路のショート、腐食の原因となります。身につけて使用する場合、汗などの水分が内部に入らないようにしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。「安全にご使用いただくために」にしたがって正しい取り扱いをしてください。

付属品

ヘッドホン(1)

USB2.0ケーブル(1)

CD-ROM(1)

クイックガイド(1)

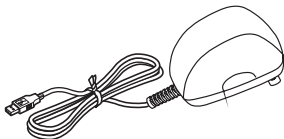
付属のCD-ROMの内容

- Windows Media Player 10
- 取扱説明書
- alneo C Seriesアップデータ
  (XA-C210/110/51のメンテナンスのためのツールです。)

別売品のご案内

本機はパソコンのUSB端子で充電できますが、家庭用コンセントで充電したい場合は、こちらの別売品をお買求めください。

USB ACアダプター(品番:AA-R511)

USB ACアダプター(AA-R511)を使って家庭用コンセントで充電しているときは、充電中でも本機を操作することができます。

パソコンに必要なシステム構成

対応OS	Microsoft® Windows® XP (Home Edition/Professional)SP1以降
CPU	Intel® Pentium® Ⅲ350MHz以上
メモリ	256MB以上
ハードディスクの空き容量	100MB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ
ポート	USBポート(USB2.0/1.1)

ご注意

- パソコンによっては、上記の動作環境を満たしていても、本機が正常に動作しない場合があります。
- 64ビット搭載のパソコンには対応していません。

- **Microsoft、Windows Mediaは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。**
- **本クイックガイドなどに記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。**
- **Windows Media Player 10以降のバージョンと、Windows XP以降のOSについては、弊社ホームページをご覧ください。**

  お問い合わせ・サポート「製品Q&A」
  http://www.jvc-victor.co.jp/support/index.html

  alneo style!
  http://www.jvc-victor.co.jp/alneo/index.html

- **本書と付属のCD-ROMの取扱説明書では、Windows XP、Windows Media Player 10で説明します。**

付属のCD-ROMをインストールする

本機を充電したり、音楽ファイルを転送する前には必ずWindows Media Player 10をインストールしてください。Windows Media Player 10以前のバージョンやこれ以外のジュークボックスソフトでは正常に動作しません。

Windows Media Player 10、取扱説明書をインストールする

インストールを始める前に、他のプログラムを終了してください。

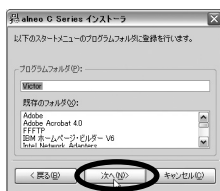
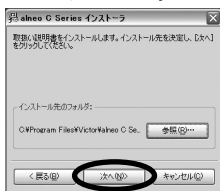
1 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCDを入れる

alneo C Seriesインストーラ画面が表示されます。

- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブを選び、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 画面の指示にしたがって、お進みください。

2 インストールする言語を選ぶ

- 英語を選ぶと、Windows Media Player 10 英語版がインストールされます。
- 取扱説明書は日本語版です。

3 取扱説明書のインストール先を確認して「次へ」をクリックする

インストールが始まります。
すでにWindows Media Player 10がインストールされている場合は確認画面で「いいえ」を選んでください。
アップデータと取扱説明書がインストールされます。

4 画面に「インストールが完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

■ Windows Media Player 10を確認する

1 **「スタート」—「すべてのプログラム」—「Windows Media Player」の順にクリックする**

Windows Media Playerが表示されます。

2 **「ヘルプ」—「バージョン情報」の順に選ぶ**

「Windows Media Player 10」と表示されることを確認してください。

■ 取扱説明書(マニュアル)を見る／アップデータを使う

「**スタート**」—「**すべてのプログラム**」—「**Victor**」—「**alneo C Series**」の順にクリックすると、「アップデータ」、「アンインストール」、「マニュアル」、「alneo style!」、「ユーザー登録」が表示されます。必要な項目をクリックしてください。

- 「アンインストール」をクリックすると取扱説明書とアップデータが削除されます。
  (Windows Media Playerは削除されません。)

■ アップデータについて

- alneo Cアップデータの使いかたについては、alneo Cアップデータの画面上にある「ReadMe」ボタンをクリックし、ReadMeファイルをご覧ください。
- アップデートするときは、本機のUSBモードを「オート」にしてください(⇨29ページ)。USBモードが「MSC」になっていると、アップデートできません。

再生できるファイルについて

■ 音楽ファイル

- MP3 (8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR)
- WMA-DRM、WMA (8kbps～320kbps、8kHz～48kHz、VBR)
- WAV (16bit, リニアPCM、8kHz～48kHz)
- AAC

■ 画像ファイル

- JPEG

■ データ数の制限

ファイル数:5 000
フォルダ数:10 000
プレイリスト:4 000
音楽ファイル + 画像ファイル (ジャケット画像含む):4 000

■ 拡張子

音楽ファイル

- MP3:「.MP3」「.mp3」
- AAC:「.M4A」「.m4a」
- WMA-DRM
  WMA:「.WMA」「.wma」
- WAV:「.WAV」「.wav」

画像ファイル

- JPEG:「.JPEG」「.jpeg」「.JPG」「.jpg」

- AACファイルは、iTunesを使って作成されたAACファイルを再生できます。
- iTunes Storeで購入した曲は再生できません。
- iTunesは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。
- WMA LosslessおよびVoiceには対応していません。
- プログレッシブJPEGファイルには対応していません。
- ATRACのオーディオファイルには対応していません。

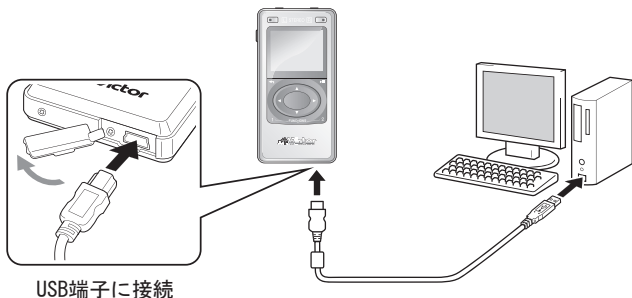
充電する

初めて本機をご使用になるとき、または充電池の残量が少なくなったときは、内蔵充電池を充電してください。

- 充電が始まると、本機の画面に アイコンが表示されます。
- 充電ができない場合は、本機の画面に アイコンが表示されます。

パソコンで充電する

1 パソコンの電源を入れ、パソコンが起動してから、付属のUSBケーブルで本機に接続する。

Windows Media Player 10 をインストールした Windows XP パソコンをお使いください。

「接続中」の画面が表示され、充電が開始されます。

パソコンで充電

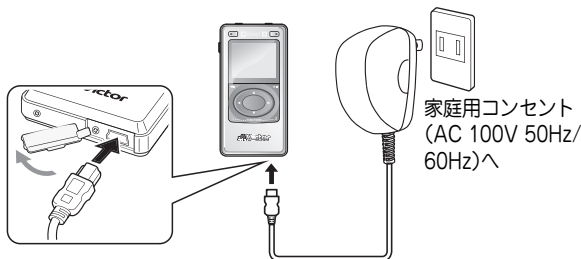
本機をパソコンに接続しているときは本機の操作はできません。音楽を再生中に接続すると再生は停止します。

次のページの「ご注意」もお読みください。

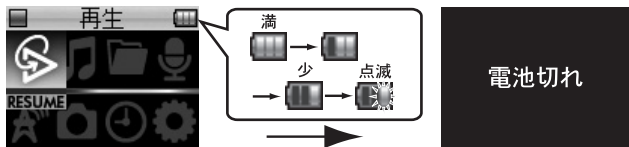
準備

ご注意

- パソコンの電源がスタンバイ、休止、オフの場合は充電できません。
  パソコンが起動していることを確認して接続してください。
- お使いのパソコンの電源設定によっては、パソコンをしばらく放置したり、ノートパソコンのモニターを閉めると休止またはスタンバイモードになることがあります。このような場合も本機は充電されません。
- 充電が中断したときは、本機の画面に「充電が中断されました[OK]」とアイコンが表示されます。充電を継続するには、本機を外してパソコンの電源設定を変更してから、再度本機を接続してください。「充電が中断されました[OK]」のメッセージを消すには、本機の○ボタンを押してください。
- パソコンのスタンバイ、休止モードについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

別売りのUSB ACアダプター(品番:AA-R511)を使って充電する

USB ACアダプターで充電しているときは、充電中も本機を操作できます。

■ バッテリーインジケーターの見かた

目盛りが少なくなるほど電池残量が減っていきます。点滅表示後に「電池切れ」と表示されたときは電源が切れます。充電してください。

■ パソコン、または別売りUSB ACアダプターに接続して充電を開始しても、以下の画面が表示されるときは

充電したまましばらく(約3分〜5分)お待ちください。表示可能になると自動で画面が表示され、パソコンで充電している場合は本機がパソコンで認識されます。

アイコンは充電していることを表します。

パソコンで充電

USB ACアダプターで充電

■ 内蔵充電池について

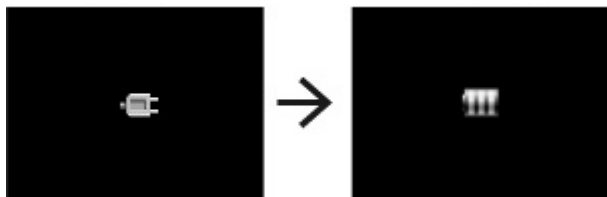
- 電池は約500回充電できます。
- 充分に充電をしても使用できる時間が短くなったと感じられるときは、内蔵充電池の寿命です。内蔵充電池の交換が必要になります。
- 内蔵充電池が消耗しきっている場合、満充電するには最大約3時間かかります。1時間で約70%の充電ができます。
- 充電時間は電池残量や本機の使用状況により異なります。

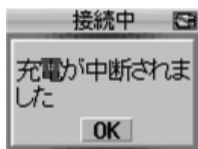
■ 内蔵充電池の交換・廃棄について

- 内蔵充電池の交換は販売店やビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 本機を廃棄するときは、「本機を廃棄するときのご注意」(⇨90ページ)の手順に従って内蔵充電池を取り外し、充電式電池リサイクル協力店にお持ち込みください。本機を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。故障や破損の原因となります。

■ 充電中の表示について

充電中は、一定時間が経過すると画面が暗くなり、以下のようなアクティブサイン（状態アイコン）が画面に表示されます。（画面上のアクティブサイン（状態アイコン）は移動して表示されます。）

充電中　　満充電

◯を押すと画面が表示されます。

> 別売りのUSB ACアダプターで充電しているときは、本機の電源がオフのときこの画面が表示されます。電源がオンのときは、その時の状態により、アクティブサイン（状態アイコン）が表示されます。

この画面が表示されたときは、充電しているパソコンの電源がオフ、休止、スタンバイになっているため充電ができなくなっています。充電を継続するには、本機を外してパソコンの電源設定を変更してから、再度本機を接続してください。

画面表示について(省電力機能)

本機の画面表示は省電力機能が働き暗くなります。

省電力機能について

設定メニュー－「表示設定」－「省電力」－「オン」/「オフ」で設定します。

オン: 約10秒操作がないときに、画面表示を暗くします。(USB接続中、充電中はアクティブサイン(状態アイコン)を表示します。)

省電力オン時

オフ: 「表示設定」－「表示時間」で設定した時間が経過すると、画面が暗くなり、アクティブサイン(状態アイコン)が画面内を移動しながら表示されます。表示画面の焼き付きを防止します。

表示時間の設定は、設定メニュー－「表示設定」－「表示時間」－「20秒」/「30秒」(初期設定)/「40秒」で設定します。

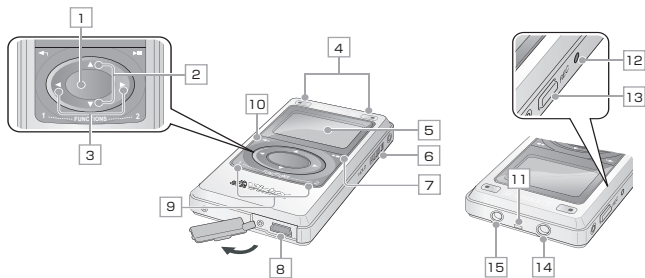
省電力オフ時
例:音楽再生中

- 画面を表示させるには、本機の◯ボタンを押してください。
- 画面を連続して表示することはできません。

アクティブサイン	状態	アクティブサイン	状態
	USBデータ転送中		録音一時停止中
	使用範囲外の温度、または充電池異常時のため充電できない		録音中
	満充電		録音停止中
	USB接続中/充電中(別売りUSB ACアダプター: 電源オフのとき)		充電禁止中
	ラジオ受信中		音楽再生停止中
	音楽再生中		

ご注意

アイコンが表示されたときは、「メッセージ一覧」(⇨74、75ページ)を参照してください。

各部の名称

1 ◯(確定)ボタン

2 △(上へ)/▽(下へ)ボタン
音楽再生時、音量を調節します。

3 ◁(前へ)/▷(次へ)ボタン

4 マイク
音声/音楽を録音します。

5 表示窓

6 HOLD（ホールド）スイッチ
ボタンをロックして誤動作を防ぎます。

7 ▷□(再生/停止)ボタン
押しつづけて、電源を入れる/切る。

8 USB端子

9 FUNCTIONS（ファンクションズ）1/FUNCTIONS（ファンクションズ）2 ボタン
登録した機能を表示/実行します。

10 (戻る)ボタン
前の画面に戻ります。押しつづけるとトップメニュー画面を表示します。

11 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付けるときに使います。

12 リセットボタン
操作できなくなったときに押します。

13 REC（レック）ボタン
内蔵マイク/外部機器/FMラジオから録音します。

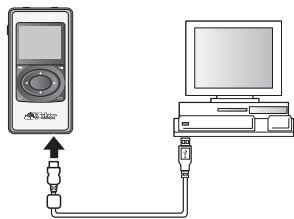
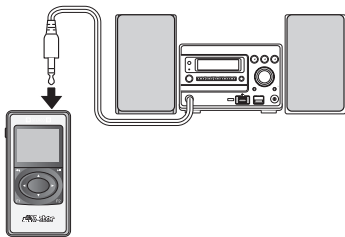
14 ヘッドホン端子

15 LINE IN（ラインイン）端子
ステレオミニジャック
外部機器から曲を録音します(ダイレクトレコーディング)。

本機に音楽ファイルを転送する

本機に音楽ファイルを転送します。

- 音楽ファイルは、パソコンを使って本機に転送する方法と、パソコンを使わずに外部機器から曲を録音するダイレクトレコーディングがあります。ダイレクトレコーディングについては44ページをご覧ください。

パソコンを使う

ダイレクトレコーディング
(⇨44ページ)

パソコンを使って本機に音楽データを転送する方法には以下の3つの方法があります。

- Windows Media Player10を使って転送する(⇨23ページ)
- MTPメディアプレーヤーとしてドラッグアンドドロップで本機に音楽データを転送する(⇨27ページ)
- USBマスストレージクラス(MSC)としてドラッグアンドドロップで本機にAACファイルを転送する。(⇨29ページ)

「音楽ファイルと転送時のUSBモードについて」(⇨78ページ)もご覧ください。

それぞれの詳しい転送方法については付属のCD-ROMの取扱説明書もお読みください。

Windows Media Player 10を使って転送する

■ 音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込みます。

1 **Windows Media Player 10を起動する**

2 **「ツール」—「オプション」を選ぶ**

3 **「音楽の取り込み」タブをクリックし、ウィンドウを開いて、必要に応じて設定を変更する**

初期設定

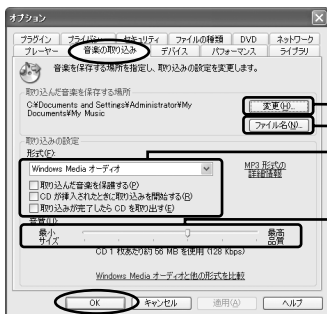
(1) 保存先:「マイドキュメント(My Document)」—「マイミュージック(My Music)」フォルダ内に自動的にフォルダが作成されます。
(2) ファイル名の付け方:次のようにファイル名がつけられます。(例:01曲名.wma)
(3) データ形式:Windows Mediaオーディオ(WMA)、MP3を選びます。
(4) 推奨音質:128kbps (8kbps〜320kbpsの範囲で選べます。)

4 **「OK」をクリックし、「オプション」ウィンドウを閉じる**

5 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する**

6 **「取り込み」タブをクリックする**

CDのトラックリストがWindows Media Player 10の画面に表示されます。

⇨次のページへ

7 「 音楽の取り込み」をクリックする

音楽の取り込みが始まります。

- チェックマークで取り込むトラックが選択できます。必要のないトラックはチェックを外します。
- インターネットに接続しておくと、アルバム情報が取得されます。されない場合はWindows Media Player 10のアルバム情報検索をクリックします。
- CDに関連付けられたジャケット画像がある場合は、アルバム情報と一緒に取得されます。

■ パソコンから音楽ファイルを本機に取り込みます。

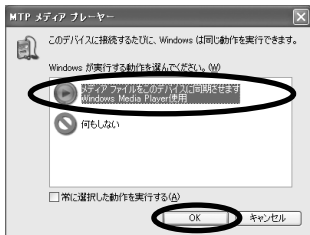
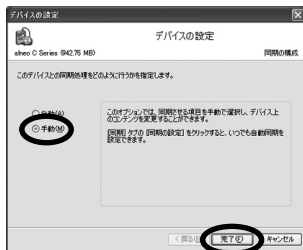
あらかじめパソコンの電源を入れて、起動していることを確認してください。

1 **付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する**

右の画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

次の画面がパソコンに表示されます。

2 **「OK」をクリックする**

3 **「手動」を選んで、「完了」をクリックする**

Windows Media Player 10の「同期」画面が表示されます。

⇨次のページへ

本機に音楽ファイルを転送する(つづき)

4 **「同期リスト」をクリックする**

転送したい音楽ファイルを選びます。☑(チェックマーク)がついた曲が転送されます。

5 **「同期の開始」をクリックする**

選択した音楽ファイルが本機に転送されます。転送中は本機の表示窓の矢印が回転します。

- 同期を途中でやめたいときは、「同期の中止」をクリックします。

6 **転送の終了を確認してから、USBケーブルを抜く**

本機の表示窓に「DB更新中」と表示されます。

- その他の転送方法については取扱説明書をご覧ください。

ドラッグアンドドロップで、パソコンから本機に音楽ファイルを転送する

Windows Media Player 10 を使用せずに、ドラッグアンドドロップで音楽データを直接転送します。

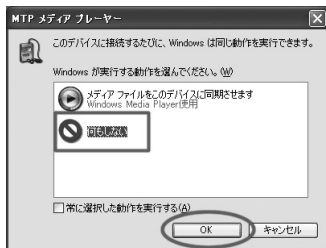
- USB接続時に、本機のUSBモードが「オート」(初期設定)に設定されている場合は、MTP優先で自動認識されます。
- プレイリスト(再生リスト)を転送するには、Windows Media Player 10 を使用してください。
- Windows Media Player 10 以降のバージョンと Windows XP 以降の OS については、弊社ホームページ「製品Q&A」および「alneo style!」をご確認ください(⇨11ページ)。

1 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する

本機の表示窓に「接続中」と表示されます。
パソコンの画面に「MTPメディアプレーヤー」画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

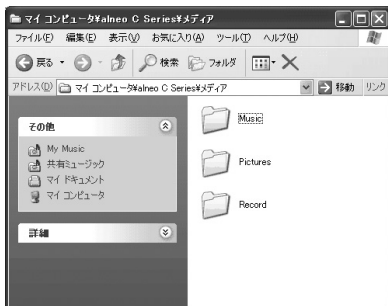
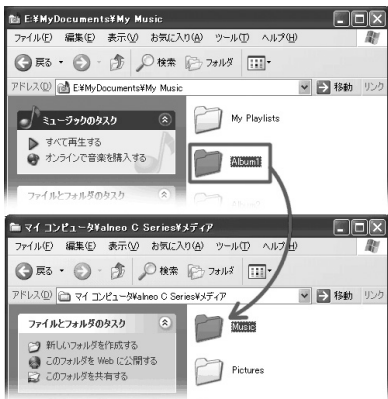
2 「何もしない」をクリックし、[OK]をクリックする

「MTPメディアプレーヤー」画面の表示が消えます。

3 「スタート」－「マイ コンピュータ」の順に選択し、「マイ コンピュータ」をクリックする

「マイ コンピュータ」が表示されます。

⇨次のページへ

4 「alneo C Series」−「メディア」フォルダの順にダブルクリックする

「メディア」フォルダが表示されます。

5 音楽ファイルまたは音楽ファイルを含んでいるフォルダを「メディア」−「Music」フォルダ内にドラッグアンドドロップする

6 USBケーブルを抜く

本機の表示窓に「DB更新中」と表示され、曲やアルバムのデータベースが更新されます。

- 「データ」フォルダに音楽/画像ファイルを入れることができますが、「データ」フォルダ内の音楽/画像ファイルはデータファイルとして本機で認識するため、再生することはできません。
- 接続または転送のときに、音楽ファイルなどのデータの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

AACファイルを転送する

パソコンに接続する前に、本機の「USBモード」を「MSC」にしておく必要があります。

■ USBモードを切り替える

1 **トップメニュー画面で、◁/▷/△/▽を押して「設定」メニューを選び、◯を押す**

2 **△/▽で「システム」を選び、◯を押す**

3 **△/▽で「USBモード」を選び、◯を押す**

4 **△/▽で「MSC」を選び、◯を押す**

「オート」(初期設定)に戻すには

上記の手順4で、「オート」を選び、◯を押します。

⇨次のページへ

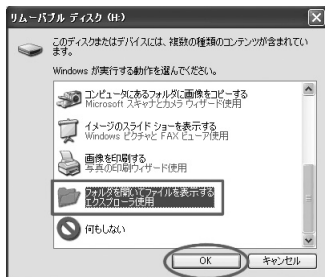
■ AACファイルを転送する

1 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する

右の画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

パソコンの画面に「リムーバブルディスク」画面が表示されます。

2 「フォルダを開いてファイルを表示する」をクリックし、「OK」をクリックする

「リムーバブルディスク」画面を表示しないときは、「スタート」—「マイコンピュータ」—「リムーバブルディスク」を選択してください。

3 「Music」フォルダをダブルクリックする

「Music」フォルダが表示されます。

4 AACファイルまたはAACファイルを含んでいるフォルダを「Music」フォルダ内にドラッグアンドドロップする

5 タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」 を左クリックし、画面の指示にしたがって、パソコンから本機を取り外す

本機の表示窓に「充電が中断されました[OK]」、「DB更新中」と表示され、データベースが更新されます

- AACファイルを転送したあとは、USBモードを「オート」に戻してください(⇨29ページ)。
- iTunes Storeで購入した音楽ファイルは再生できません。

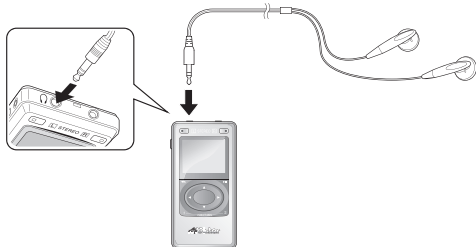
電源を入れる/切る

電源を入れる：画面が表示されるまで ▷□ ボタンを押しつづけます。
電源を切る　：「終了します」表示がでるまで ▷□ ボタンを押しつづけます。

「自動電源オフ」機能が設定されている場合、一定時間(初期設定:1分)操作を行わないと、本機の電源は自動でオフになります。「自動電源オフ」機能の設定については、「設定」メニューー「自動電源オフ」で設定してください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを取り付ける

ヘッドホンをヘッドホン端子に接続します。

トップメニュー、サブメニューの使いかた

トップメニューについて

1 本機の電源を入れて、トップメニュー画面を表示する

- トップメニュー画面が表示されないときは、⬅ を押しつづけます。

トップメニュー画面

2 ◁/▷/△/▽ で操作するメニュー項目を選び、◯ を押す

RESUME	再生メニュー	RADIO	ラジオメニュー*1
MUSIC	音楽メニュー	PICTURE	画像メニュー*2
FOLDER	フォルダメニュー	CLOCK	時計メニュー
RECORD	録音メニュー	SETTINGS	設定メニュー

*1 LINE IN端子にケーブルを接続していると、ラジオ画面は表示されません。

*2 本機に画像ファイルが保存されていないと、画像画面は表示されません。

基本操作

トップメニュー、サブメニューの使いかた(つづき)

サブメニューについて

トップメニューの「再生」、「音楽」、「フォルダ」、「録音」、「ラジオ」、「画像」からそれぞれのメニュー階層に入るとサブメニューを表示することができます。

- サブメニューがない階層もあります。
- サブメニューを表示させる場所によって表示されるアイコンは異なります。

サブメニュー

1 **再生画面などの表示中に、◯を押しつづける**

サブメニューが表示されます。

2 **◁/▷/△/▽で設定する項目を選ぶ**

3 **◯を押して決定する**

サブメニューについては、「サブメニュー一覧」(⇨83ページ)をご覧ください。

日付と時刻を設定する

1 **トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「設定」メニューを選び、◯を押す**

2 **△/▽で「時計設定」を選び、◯を押す**
△/▽で「日付と時刻」を選び、◯を押す
△/▽で「日付・時刻設定」を選び、◯を押す

日付・時刻設定画面

日付・時刻...
2007 01/01 08:12
PM

3 **◁/▷で設定したい年/月/日/時/分を選び、△/▽で数字を切り替え、◯を押して確定する**

「分」を設定し、◯を押すと変更が保存され、00秒からスタートします。トップメニューから時計メニューを選び、◯を押すと設定した時刻が確認できます。

- 「設定」メニュー―「時計設定」―「日付と時刻」―「日付表示」で日付表示を変えることができます。
- 24h/12hなどの表示の切り替えや、アラーム機能、世界時計、スリープタイマーなどの機能もお使いいただけます。
- 内蔵マイク録音、FM録音すると、設定した年月日表示や時刻がファイル名に使用されます。
  外部機器(LINE IN)から録音するとフォルダ名に使用されます。

再生する

音楽を再生する

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「音楽」メニューを選び、○を押す

メニュー項目が表示されます。

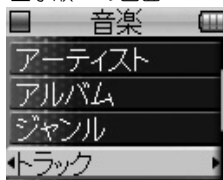
2 △/▽で項目を選び、○を押す

例: トラック

3 △/▽で再生したい曲を選び、○を押す

再生画面が表示され、再生が始まります。

■手順 1 の画面

■手順 2 の画面

■ 再生の基本操作

操作	本機ボタン操作
曲を再生する	▷□ / ○ を押す
再生を一時停止する	再生中に ▷□ をもう1回押す
音量を上げる/下げる（調節範囲：0～30、ヘッドホン出力を「高」に設定したとき：0～40）	上げる：再生中に △ を押す 下げる：再生中に ▽ を押す
今聴いている曲を頭出しする	◁ を1回押す
前の曲にスキップする	◁ を2回押す
次の曲にスキップする	▷ を1回押す
早戻しする	◁ を押したままにする
早送りする	▷ を押したままにする

再生画面について

1 **トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「再生」メニューを選び、◯を押す**

再生画面が表示され、再生が始まります。

再生画面の各部の名前

■ノーマル画面

■ジャケット画像画面/
ジャケット画像拡大表示画面

1 再生状態表示
2 時刻表示
3 バッテリー表示
4 曲名
5 アーティスト名
6 曲番号／総曲数
7 再生位置
8 経過時間表示/残り時間表示
◯を押すたびに切り替えて表示
9 サウンドモード表示
10 リピートモード
11 プレイモード
12 音声圧縮フォーマット
13 ビットレート
14 ジャケット画像
15 「アラーム」アイコン
16 「スリープ」アイコン

再生画面の切り替えについて

再生画面表示中に◯を押すたびに、画面表示が切り替わります。音楽ファイルに画像ファイルが関連付けられているときは、ジャケット画像画面でその画像を表示します。関連付けがされていないときは、「alneo」画像を表示します。

⇨次のページへ

■ ジャケット画像設定が「オン」のとき

例:

■ ジャケット画像設定が「オフ」の場合

◯を押すごとに再生経過時間と再生残り時間が交互に表示されます。

例:

- 再生中に音量調節画面などを表示させた場合は、自動で再生画面に戻ります。(画面によっては、戻らない場合もあります。)
- 他の画面からは、FUNCTIONS1/FUNCTIONS2キーを押すと再生画面を表示できます(画面によっては戻らない場合もあります)。

ジャケット画像表示を設定する

1 再生画面で◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷で「ジャケット」□を選ぶ

3 △/▽で「ジャケットオン」、または「ジャケットオフ」を選び、◯を押す

■手順２～３の画面

再生方法(プレイモード)を変えて聴く

くり返し再生する(リピート再生)

1 **再生画面で○を押しつづける**

サブメニューが表示されます。

2 **◁/▷で「リピート」を選ぶ**

3 **△/▽で設定する項目を選び、○を押す**

リピートオフ	リピートモードの設定をオフにします。
1曲リピート	現在再生中の曲(1曲)をくり返し再生します。
すべてリピート	現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれるすべての曲をくり返し再生します。
ABリピート	選んだ再生範囲の曲をくり返し再生します。A点、B点の決定は○を押します。

ランダムに再生する

現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれるすべての曲を順不同に再生します。

1 **再生画面で○を押しつづける**

サブメニューが表示されます。

2 **◁/▷で「ランダム」を選ぶ**

3 **△/▽で「ランダムオン」を選び、○を押す**

ランダムプレイがオンになります。
オフにする場合は、「ランダムオフ」を選んで○を押します。

再生方法(プレイモード)を変えて聴く(つづき)

曲間を空けずに再生する(ギャップレス再生)

1 再生画面で◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷で「ギャップレス」を選ぶ

3 △/▽で「ギャップレスオン」を選び、◯を押す

「ギャップレスオフ」を選ぶと通常の再生に戻ります。

早送り/早戻し再生中、1曲/AB間リピート再生中、タイムプレイ中は、ギャップレス再生できません。AAC、WMA-DRM 10ファイルの曲もギャップレス再生できません。MP3、WMAファイルの場合でも、曲によってはギャップレス再生できない場合があります。

速度を変えて再生する

1 再生画面で◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷で「再生速度」を選ぶ

3 △/▽で設定する項目を選び、◯を押す

標準	通常の速度でします。
速く	通常の約1.25倍の速度で再生します。
遅く	通常の約0.8倍の速度で再生します。

- 再生速度を切り替えると音程が変わります。
- 曲によっては再生速度を設定しても、再生速度が変わらない場合があります。

音質を調節する

■ サウンド設定画面を表示する

1 **トップメニュー画面から◁/▷/△/▽で「設定」メニューを選び、◯を押す**

2 **△/▽で「サウンド」を選び、◯を押す**
サウンド設定項目が表示されます。

3 **△/▽で設定したい項目を選び、◯を押す**

4 **△/▽で設定し、◯を押して確定する**

設定できる項目

- K2テクノロジー
- デジタルAHB
- サラウンド
- マニュアルEQ
- ヘッドホン出力
- バランス
- トレイン
- MNR（マルチバンド・オプティマム・ノイズリダクション）

それぞれの項目の内容については、87、88ページをご覧ください。

録音をする前に

録音画面を表示するには

■ 内蔵マイクの場合

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽ で「録音」メニューを選び、◯ を押す

録音画面が表示されます。

■ 外部機器の場合

1 別売りのオーディオケーブルを使い、本機のLINE IN端子と外部機器の端子(LINE OUT端子またはヘッドホン出力端子など)を接続する

録音画面に「Line」と表示されます。

LINE IN端子に接続

録音画面の各部の名前

1	録音ソース表示	外部機器: Line 内蔵マイク 音声: MIC Voice 内蔵マイク 音楽: MIC Music	7	録音レベルメーター 8 録音状態表示
2	時刻表示		9	録音品質表示
3	バッテリー表示		10	録音経過時間
4	ステレオ/モノラル表示		11	モード表示(REC)
5	ファイル名表示		12	感度(MIC Voice)/録音ボリューム値(Line/MIC Music)
6	残録音時間表示			

録音レベルの見かたと設定

録音レベルは、音量の大小を色分けされた録音レベルメーターで確認します。以下を参考にして、録音レベルを調整してください。

- 録音レベルメーターが水色から黄色の範囲で動くときは、ほぼ適正な音量で録音されます。赤のレベルに達すると、音に歪みが生じる場合があります。LINE IN、マイク録音音楽モードでは、録音ボリュームで録音レベルを調整します。マイク録音の音声モードでは録音感度を切り替えます。

- 録音の各種設定を以下のように設定しているときは、録音レベルメーターの左側の表示色がグレーとなり、無音として判定されます。グレー表示の範囲は設定により異なります。

録音ソース	録音設定
LINE IN	オートトラック
マイク(音楽: MIC Music)	オートトラック
マイク(音声: MIC Voice)	VAC レベル 高/レベル 低

- ヘッドホンをヘッドホン端子に接続して録音する音を聴くことができます。

■ 録音時間について

録音できる時間は、録音方法や設定によって異なります。詳しくは95ページの「録音時間」をご覧ください。

実際の録音時間は録音品質とメモリ容量により異なる場合があります。

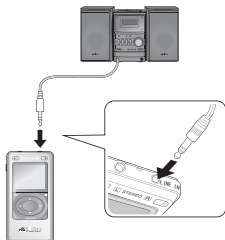
外部機器から音楽を録音する

ダイレクトレコーディング:パソコンを使わずに外部機器から音楽を取り込みます。

準備する

■手順1

1 別売りのオーディオケーブルを使い、本機のLINE IN端子と外部機器の端子を接続する

録音画面に「Line」と表示されます。外部機器の端子がLINE/OUTのときは手順3へ、ヘッドホン端子のときは手順2へ進みます。

2 本機にヘッドホンを接続し、外部機器を再生して音量を確認する

外部機器のヘッドホン端子から録音している場合、音量が低いときは、外部機器側の音量を上げます。

3 ◁/▷を押して録音ボリューム(1～16)を調整し、適切な音量を決定する

本機に接続したヘッドホンと本機のレベルメーターで音量を確認しながら録音レベルを調整します(⇨43ページ)。

■ 録音レベル設定のご注意

本機に入力される音量が小さいと、次のような問題が発生する場合があります。録音を実行する前に、必ず外部機器側の音量を確認して適切な録音レベルに設定してください。

- 音を検出できず録音が開始されない。
- 録音した音が小さい。
- トラックマークを「オートトラック」に設定しているとき、録音した曲が分割されたり、音とびのように音が途切れたりする場合がある。

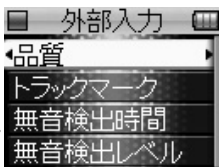
録音設定をする

LINE IN接続で録音するときの設定をします。LINE IN録音では、「品質」「トラックマーク」「無音検出時間」「無音検出レベル」が設定できます。

1 トップメニュー画面の「設定」メニュー―「録音設定」―「外部入力」を選ぶ

2 △/▽を押して設定したい録音設定項目を選び、◯を押す

選んだ項目の設定項目が表示されます。

外部入力
品質
トラックマーク
無音検出時間
無音検出レベル

3 △/▽を押して項目を選び、◯を押す

LINE IN録音設定項目について

外部入力の録音設定では、「品質」「トラックマーク」「無音検出時間」「無音検出レベル」を設定できます。

品質

モード	品質	ビットレート	ファイル形式	STEREO/MONO
LP	長時間録音用	64kbps	WMA	STEREO
SP	標準	96kbps		
HQ	高音質	128kbps		
PCM	さらに高音質	―	リニアPCM	

トラックマーク

設定項目	内容
オート	無音部分を検出し、自動的にトラックマークを付けます。
マニュアル	手動でトラックマークを付けます。

■ サブメニューでオートトラック(自動)を設定する

1 録音画面から、◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷を押して「♪」を選ぶ

3 △/▽を押して、「オートトラック」を選び、◯を押す

オートトラックについて詳しくは、48ページをご覧ください。

外部機器から音楽を録音する(つづき)

無音検出時間(「トラックマーク」が「オート」のときに有効です)

設定項目	内容
1 秒	1 秒以上の無音を検出すると、トラックマークを付けます。この場合、トラックマークが付きやすくなります。
2 秒	2 秒以上の無音を検出すると、トラックマークを付けます。
3 秒	3 秒以上の無音を検出すると、トラックマークを付けます。この場合、トラックマークが付きにくくなります。

無音検出レベル(「トラックマーク」が「オート」のときに有効です)

設定項目	内容
高	無音の検出レベルを高くします。この場合、トラックマークが付きやすくなります。
標準	無音の検出レベルを標準にします。
低	無音の検出レベルを低くします。この場合、トラックマークが付きにくくなります。

録音する

1 録音画面で、RECボタンを押し、外部機器で曲の先頭から再生する

- トラックマークを「オート」に設定しているとき:音を検出して録音が始まります。(録音状態表示が、●赤に変わります。)
  曲間の無音部分を検出して、自動的に曲ごとにトラック番号を更新します。
- トラックマークを「マニュアル」に設定しているとき:
  すぐに録音が始まります。◯を押すとトラック番号を更新します。

■ 録音を一時停止／再開する

▷□ を押す(一時停止中は❚❚が表示されます。録音を再開するにはもう一度 ▷□ を押してください。オートトラックに設定しているときは働きません。)

■ 録音を停止する

RECボタンを押す(録音状態表示が、●グレーに変わります。)

■ 録音ファイルを再生する

本書の「録音したファイルを再生する」(⇨60ページ)をご覧ください。

- 録音内容は、フォルダメニューの「Record」フォルダの下の「LINE」フォルダに保存されます。録音した年月日に応じて「年月日_時分」とフォルダ名が付けられ、そのフォルダの中にトラックマークごとに Track001.wma、Track002.wma …とファイル名が付けられます。(最大 Track999.wma)
- 1つのフォルダには、録音開始から停止までのトラックを保存します。途中で録音を停止した場合は、同じ音楽CDやMDなどで再度録音しても、別のフォルダにトラックが保存されます。999トラック作成された後は、録音が終了します。

オートトラックについて

曲間の無音を検出することによって、曲ごとに自動的にトラックマーク(曲番号)を付けることができます。Track001、Track002…最大Track999まで自動作成します。
レベルメーターが表示していない、またはグレーを表示しているときも無音として検出されますので録音レベルを事前に調整してください。

無音が1秒/2秒/3秒*以上～10秒未満(無音検出時間を含む)の場合

* 無音部分の検出時間は、1秒、2秒、3秒から設定することができます。お買い上げ時の設定は、「2秒」に設定されています。

無音が10秒以上(無音検出時間を含む)の場合

曲間の無音が10秒(無音検出時間を含む)の場合は、一時停止し、待機状態になります。次の音を検出すると次のトラックとして録音を再開します。待機状態が1分を経過した場合は録音を終了します。

LINE IN録音時の無音検出のレベル/時間は、設定メニューから切り替えることができます。

内蔵マイクで音声・音楽を録音する

内蔵マイクで音声または音楽を録音します。音声用と音楽用で録音モードを切り替え、それぞれのソースに適した録音設定で録音することができます。

録音モードを切り替える

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「録音」メニューを選び、◯を押す

2 録音画面で、◯を押しつづける

サブメニューを表示します。

音声モード時

音楽モード時

3 ◁/▷で「 」を選び、△/▽で「音声」または「音楽」を選び、◯を押す

モードが切り替わると、録音画面にモード別に「MIC Voice」(音声)または「MIC Music」(音楽)と表示されます

音声モード時

音楽モード時

録音する

録音設定をする

内蔵マイクで録音するときの設定をします。録音モードによって設定できる項目が異なります。

1 トップメニュー画面の「設定」メニュー—「録音設定」—「マイク」を選ぶ

2 △/▽、○で録音設定項目を選び、設定する

3 △/▽を押して項目を選び、○を押す

選んだ録音設定が確定されます。

録音設定項目について

■ 音声モードの録音設定項目について

音声モードでは、「品質」「感度」「VAC」を設定できます。

品質

モード	品質	ビットレート	ファイル形式	STEREO/MONO
EP	さらに長時間録音用	32kbps	WMA	MONO(Lチャンネル)
LP	長時間録音用	64kbps		STEREO
SP	標準	96kbps		
HQ	高音質	128kbps		
PCM	さらに高音質	—	リニア PCM	

感度

モード	設定内容
低	1〜2人の会話を録音するとき
高	多人数での会議などを録音するとき

VAC機能について

- 3秒以上音のない状態が経過すると一時停止し、次に音が入った時点で録音を再開します。1時間以上音がない状態が続くと録音を自動終了します。
- VACを「レベル 低」に設定した場合は、小さな音でも検出しやすくなるため、雑音が多い環境では録音が自動で一時停止しないことがあります。
- VAC機能は周囲の環境により左右されますので、事前にテストした上で、録音環境に合わせて感度を切り替えてください

VAC

モード	設定内容
オフ	VAC機能が働かなくなります。
レベル低	無音検出レベルを低く設定します。
レベル高	無音検出レベルを高く設定します。

■ 音楽モードの録音設定項目について

音楽モードでは、「品質」「トラックマーク」「ウィンドカット」「無音検出時間」「無音検出レベル」を設定できます。

品質

モード	品質	ビットレート	ファイル形式	STEREO/MONO
EP	さらに長時間録音用	32kbps	WMA	MONO(Lチャンネル)
LP	長時間録音用	64kbps	WMA	STEREO
SP	標準	96kbps	WMA	STEREO
HQ	高音質	128kbps	WMA	STEREO
PCM	さらに高音質	—	リニア PCM	STEREO

トラックマーク

モード	設定内容
マニュアル	手動でトラックを分けるとき
オート	無音を区切りに、自動でトラックを分けるとき「設定」メニューで、無音検出時間、無音検出レベルを設定できます。

ウィンドカット

モード	設定内容
オン	耳障りな風切り音を低減します。
オフ	通常の録音をします。

無音検出時間

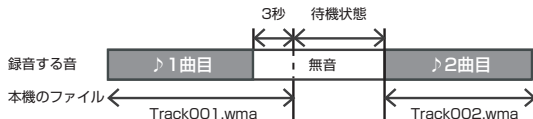
モード	設定内容
1秒	1秒以上の無音を検出すると、トラックマークを付けます。この場合、トラックマークが付きやすくなります。
2秒	2秒以上の無音を検出すると、トラックマークを付けます。
3秒	3秒以上の無音を検出すると、トラックマークを付けます。この場合、トラックマークが付きにくくなります。

無音検出レベル

モード	設定内容
高	無音の検出レベルを高くします。この場合、トラックマークが付きやすくなります。
標準	無音の検出レベルを標準にします。
低	無音の検出レベルを低くします。この場合、トラックマークが付きにくくなります。

オートトラックについて

音楽モードで録音時に、トラックマークを付けることができます。
無音を検出することによって、曲ごとに自動的にトラックマーク(曲番号)を付けることができます。Track001、Track002...最大Track999まで自動作成します。
3秒以上無音があっても、1秒/2秒/3秒(設定した無音検出時間による)で一時停止し、待機状態になります。次の音を検出すると次のトラックとして録音を再開します。待機状態が1分を経過した場合は録音を終了します。
レベルメーターがグレーを表示しているときも無音と検出されますので録音レベルを調整してください。次の音を検出すると次のトラックとして録音を再開します。

例:無音が3秒以上(無音検出時間を「3秒」に設定したとき)

• 録音後のファイルを本機で編集することはできません。

録音する

1 録音画面で、RECボタンを押し、外部機器で曲の先頭から再生する

音楽モードで録音しているときは、トラックマークをつけることができます。

■ 録音を一時停止/再開するには

▷□ を押す(一時停止中は▮▮が表示されます。録音を再開するにはもう一度 ▷□ を押してください。)
VACレベル高・低、オートトラックを設定している場合は働きません。

■ 録音を停止する

RECボタンを押す(録音状態表示が、●グレーに変わります。)

■ 録音ファイルを再生する

本書の「録音したファイルを再生する」(⇨60ページ)をご覧ください。

■ 録音ファイルについて

録音内容は、フォルダメニューの「Record」フォルダの下の「MIC」フォルダに保存されます。さらに、録音モードによって、保存先が「MUSIC」と「VOICE」フォルダに分けられます。ファイル形式は、WMA形式です。

録音モード	保存先フォルダ	フォルダ名/ファイル名
音声	VOICE	録音年月日_時分.wma
音楽	MUSIC	録音年月日_時分／Track001.wma,Track002.wma・・・

- 本機のLINE IN端子にオーディオケーブルが接続されているときは、マイク録音はできません。マイク録音をするときは、オーディオケーブルが接続されていない状態で録音を行ってください。
- 音楽モードでの録音ファイルは録音開始から停止まで、最大999トラック(Track001〜Track999)作成されます。999トラック作成された後は、録音が終了します。
- ヘッドホン出力を「高」に設定しているときにマイク録音モードに入ると、ヘッドホン出力が自動的に「標準」に設定されます。

FMラジオを受信する

内蔵のFMチューナーで、FMラジオを聴いたり、録音することができます。

- 本機はヘッドホンのコードがFMアンテナの役割をしています。受信状態が悪い場合は、なるべくコードを伸ばした状態でヘッドホン端子に挿してください。
- LINE IN端子にオーディオケーブルを接続していると、受信画面は表示されません。

放送局を選ぶ

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽ボタンを押して「ラジオ」メニューを選び、○を押す

2 ◁/▷ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

前の周波数を選ぶときは、◁を短く押します。(押すごとに 0.10MHz ずつ戻ります。)
次の周波数を選ぶときは、▷を短く押します。(押すごとに 0.10MHz ずつ進みます。)
◁/▷を押しつづけると、受信できる放送局まで進んで止まります。

■ FMラジオ受信をやめるには

⮜ を押してトップメニュー画面に戻る

■ FMラジオの音声を一時的に消す(ミューティング)には

▷□ を押す

MUTING が表示されます。もう一度 ▷□ を押すと、再びFMラジオの音声が出るようになります。

放送局を登録する

最大20局まで放送局を登録することができます。

自動で放送局を登録する(オートプリセット)

1　ラジオ画面で、◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2　◁/▷で「オートプリセット」を選び、◯を押す

選局が始まり、受信できる放送局が低い周波数から順番に登録されます。(最大20局)
登録されないときはマニュアルモードになります。

3　◁/▷を押して聴きたい放送局を選ぶ

プリセット番号が切り替わり、登録された周波数の放送を受信します。

マニュアル(手動)でプリセットを登録する

1　マニュアルモードで登録したい周波数を選ぶ

マニュアルモード画面が表示されていないときは、◯を押しつづけて、サブメニューから「マニュアルモード」Mを選んで◯を押す。

2　◯を押しつづけてサブメニューを表示する

3　◁/▷で「チャンネルセット」を選んで◯を押す

⇨次のページへ

放送局を登録する(つづき)

4 ◁/▷を押して登録したいプリセット番号を選ぶ

5 ◯を押しつづけてサブメニューを表示する

6 ◁/▷を押して「セット」を選び、◯を押す

周波数が登録されて、マニュアルモード画面に戻ります。このとき「クリア」を選ぶと登録を中止します。

プリセット登録した放送局を呼び出す

1 マニュアルモード画面から、◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷を押して「プリセットモード」を選び、◯を押す

3 ◁/▷で呼び出したいプリセット番号を選ぶ

■ 登録したプリセットを削除するには

1 ◯を押しつづけてサブメニューを表示し、「チャンネルセット」を選んで◯を押す

2 ◁/▷を押して削除したいプリセット番号を選ぶ

3 ◯を押しつづけてサブメニューを表示し、「クリア」を選んで◯を押す

登録していたプリセットが削除されます。

受信感度を切り替える

オートプリセット時やマニュアルモードで選局するときにうまく受信できないときは、受信感度を切り替えます。

1 ラジオ画面で◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷で「受信感度」を選択する

■手順2の画面

3 △/▽で「高」と「標準」を切り替え、◯を押す

感度が切り替わります。

ステレオ/モノラルを切り替える

ステレオモードでは、受信状態が悪いと雑音が入り、聴き取りにくいことがあります。このようなときには、モノラルモードにすると雑音が軽減され、聴き取りやすくなります。

1 ラジオ画面で◯を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷で「ステレオ/モノ」を選ぶ

■手順2の画面

3 △/▽で「ステレオ」と「モノ」を切り替え、◯を押す

FMラジオを録音する

FM放送の録音品質を設定する

1 トップメニュー画面の「設定」メニュー—「録音設定」—「ラジオ」—「品質」を選ぶ

2 △/▽を押して設定する項目を選び、○を押す

■ ラジオ録音の品質について

ビットレートが大きいほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。

モード	品質	ビットレート	ファイル形式	STEREO/MONO
LP	長時間録音用	64kbps	WMA	STEREO
SP	標準	96kbps		
HQ	高音質	128kbps		

録音する

1 ラジオ画面を表示し、録音したい周波数を選局する

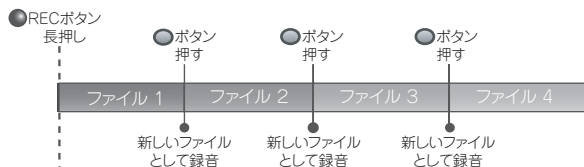
2 RECボタンを押しつづける

録音画面が表示され、録音が始まります。(録音状態表示が、●赤に変わります。)

■ 録音を一時停止/再開する

▷□ を押す(一時停止中は▮▮が表示されます。)
録音を再開するにはもう一度 ▷□ を押してください。

■ ファイルを分けて録音する

◯を押す(放送している番組が終ったときなどで、録音ファイルを分けることができます。)

- 録音した後のファイルは、分けることができません。

■ 録音を停止する

RECボタンを押す(ラジオ画面に戻ります。)

■ 録音ファイルを再生する

本書の「録音したファイルを再生する」(⇨60ページ)をご覧ください。

> 録音内容は、フォルダメニューの「Record」フォルダ下の「FM」フォルダ内で、周波数別にWMA形式でフォルダ保存されます。ファイル名は、録音した年月日とともに「年月日_時分.wma」と付けられます。
> 2007年04月01日 20時12分 周波数81.30MHzの場合:「081_30」フォルダの中に「070401_2012.wma」という名前のファイルができます。

録音したファイルを再生する

録音したファイルを聴きます。録音したファイルはフォルダメニューから選びます。

■手順1の画面

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「フォルダ」メニューを選び、◯を押す

■手順2の画面

2 △/▽で「Record」フォルダ―再生するフォルダを選び、◯を押す

ラジオ録音　FM ―（周波数）
外部機器録音　LINE―（年月日_時分）
マイク録音　MIC ┬ MUSIC―（年月日_時分）
　　　　　　　　└ VOICE

「Record」フォルダ内の「FM」、「LINE」、「MIC」フォルダは、FMラジオ、外部機器、内蔵マイクそれぞれの録音を行うと自動的に作成されます。

■手順3の画面

3 △/▽で再生したいファイルを選び、◯を押す

再生が開始されます。

■ 再生中にフォルダ画面に戻るには

⮨ を押す

前の画面が表示されます。

録音した音楽ファイルをパソコンにコピーする

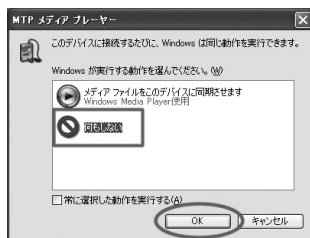
本機をパソコンと接続することで、本機で録音したファイルをパソコンに転送できます。

1 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する

右の画面が表示されます。

- 矢印が回転しているときは、USBケーブルを抜かないでください。

パソコンの画面に「MTPメディアプレーヤー」画面が表示されます。

2 「何もしない」をクリックし、「OK」をクリックする

3 「スタート」-「マイ コンピュータ」の順に選択し、「マイ コンピュータ」をクリックする

マイ コンピュータが表示されます。

4 「alneo C Series」をダブルクリックする

データフォルダとメディアフォルダが表示されます。

⇨次のページへ

録音した音楽ファイルをパソコンにコピーする(つづき)

5 「メディア」フォルダをダブルクリックして、「Record」フォルダからパソコンに保存したいファイルまたはフォルダを、マイ ドキュメントなどの任意の場所にドラッグアンドドロップする

録音ファイルの種類により、保存されているフォルダが異なります。

LINE IN端子に接続した機器から録音したファイル:
「Record」フォルダをダブルクリックして「LINE」フォルダを開きます。

内蔵マイクで録音したファイル:
「Record」フォルダをダブルクリックして「MIC」フォルダを開きます。

本機のFMラジオで録音したファイル:
「Record」フォルダをダブルクリックして「FM」フォルダを開きます

6 本機で転送の終了を確認してから、USBケーブルを抜く

本機の表示窓に「DB更新中」と表示され、データベースが更新されます

フォルダを再生する

本機に保存されている音楽ファイルと録音ファイルをリストで表示したり、再生したりできます。フォルダを選んで再生することができます。

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「フォルダ」メニューを選び、○を押す

「ルート」画面が表示されます。

2 △/▽で再生したいフォルダを選び、○を押す

さらに階層があるときは、△/▽でフォルダを選び、○を押します。再生したいフォルダを選ぶまでこの手順をくり返します。

3 ○を押しつづける

サブメニューが表示されます。

4 ◁/▷で「再生」▶を選び、○を押す

再生画面が表示され、フォルダ内のトラックが順に再生されます。

■ 前の画面に戻るには

↩ を押す

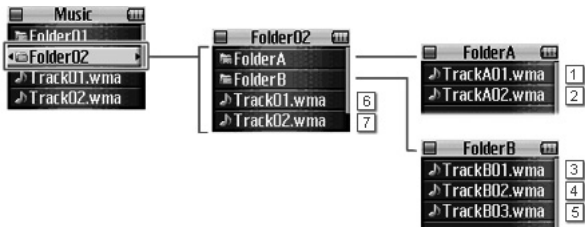
前の画面が表示されます。

その他

フォルダを再生する(つづき)

■ サブフォルダを含むときの再生順序について

選択したフォルダにサブフォルダが含まれている場合は、以下のような順序で再生します。

例: Folder02を選んで○を押し、前ページの手順3、4を行ったとき。

破損しているファイルは、アイコンがついて表示されます。

ファイル・フォルダを削除する

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「フォルダ」メニューを選び、○を押す

2 △/▽で「Music」または「Record」フォルダを選び、○を押す

フォルダリストが表示されます。

3 △/▽で削除したいファイルまたはフォルダを選ぶ

さらに階層があるときは、△/▽でフォルダを選び、○を押します。削除したいファイルまたはフォルダがリスト表示されるまでこの手順をくり返します。

4 ○を押しつづける

サブメニューが表示されます。

5 ◁/▷で「選択オン」☑を選び、○を押す

リスト表示されたファイルまたはフォルダの先頭にチェックボックス■が表示されます。

6 △/▽で削除するファイルまたはフォルダにカーソルを合わせて、○を押す

選んだファイルまたはフォルダにチェックマーク☑が付きます。

⇨次のページへ

ファイル・フォルダを削除する(つづき)

7 ○を押しつづける

サブメニューが表示されます。

8 ◁/▷で「削除」を選び、○を押す

確認のメッセージが表示されます。

9 ◁/▷で「YES」を選び、○を押す

のついたファイルまたはフォルダが削除されます。

ファイルを削除します。よろしいですか?
YES NO

- パソコンと接続して音楽ファイルを削除する方法については、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を参照してください。
- ジャケット画像を含むフォルダを削除すると、曲(ファイル)は削除されますが、ジャケット画像と曲(ファイル)やフォルダは削除されない場合があります。ジャケット画像とフォルダを削除するには、本機をパソコンに接続して削除します。詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を参照してください。

■ 再生中の音楽ファイルを削除する

1 再生画面で、○を押しつづける

サブメニューが表示されます。

2 ◁/▷で「削除」を選び、○を押す

確認のメッセージが表示されます。

3 ◁/▷で「YES」を選び、○を押す

再生中の音楽ファイルが削除されます。

オーディオ機器(UX-DM8)と接続する

本機はオーディオ機器とUSB接続して、本機の音楽ファイルをオーディオ機器で再生することができます。
また、当社製マイクロコンポーネントシステムUX-DM8と本機をUSB接続するとWMA-DRM10ファイルの再生や、本機で聴いていた曲からの再生ができます。

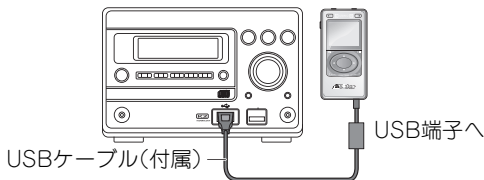
著作権保護付(WMA-DRM10)ファイルをUX-DM8でデジタル再生できます

デジタルオーディオプレーヤーの著作権保護付(WMA-DRM10)ファイルをコンポでデジタル再生するには、USB接続する機器同士がUSBデジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。本機とUX-DM8はUSBデジタルメディアストリーミングに対応しています。

■ **本機の音楽ファイルをUX-DM8のメモリに転送(移動)できます。**

UX-DM8から音楽ファイルを本機に転送(移動)することもできます。

- 本機の著作権保護付(WMA-DRM10)ファイルは転送(移動)できません。
- UX-DM8から本機に音楽ファイルを転送(移動)した場合は、UX-DM8で管理されているファイル名で本機に転送(移動)されます。

UX-DM8との本機の接続について、詳しくは、UX-DM8の取扱説明書をお読みください。

困ったときは

こんなときは

ビクターサービス窓口へのお問い合わせの前に、以下をご確認ください。また、本機の表示窓にメッセージが表示されたときは、「メッセージ一覧」もご確認ください。

■ 電源

「電源が入らない」などのトラブルに関する解決方法を説明します。

症状	原因	対処
内蔵充電池の持続時間が短い	内蔵充電池が寿命に達している	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
本機の電源が入らない	内蔵充電池が十分に充電されていない	内蔵充電池を充電してください。
	本機内部でシステムが誤動作している	リセットボタンを押してください。それでも電源が入らないときは、販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
パソコンに接続しても接続中にならず、「電池切れ」、「充電中　お待ちください」と表示される	充電中だが、まだ本機を動作することができない	約3～5分間お待ちください。表示可能になったら自動で電源が入り、画面が表示されます。

■ 再生

操作や再生時のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
ボタン操作に反応しない	HOLDになっている	HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして解除してください。
	本機内部でシステムが誤動作している	リセットボタンを押してください。

■ 再生（つづき）

症状	原因	対処
AACファイル再生中に、音が途切れる	高ビットレートのため、処理が重くなっている	サウンドをオフ、再生速度を標準に設定を変える。 または、AACファイルのビットレートを下げてください。
再生速度を変えても、再生速度が変わらない	サンプリング周波数が対応していない	本機は44.1k、48kHzにのみ対応しています。サンプリング周波数を対応値に変更してください。
曲間でノイズが出る	ギャップレス再生がオンになっている	ギャップレス再生をオンにしているときに曲によっては曲間でノイズが出ることがあります。ノイズが気になるときは、ギャップレス再生をオフにしてください。

■ パソコンとの接続

本機とパソコンの接続時やデータ転送時のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
本機がパソコンにMTPデバイスとして認識されない	Windows Media Player 10 がインストールされていない	Windows Media Player 10をインストールしてください。 Windows XP Service Pack 1または 2 がインストールされていない場合は、Service Packをインストールしてください。 Service Packがインストールされているか確認するには、パソコンの[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]－[全般]タブを表示してシステムを確認してください。

■ パソコンとの接続(つづき)

本機とパソコンの接続時やデータ転送時のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
本機がパソコンに認識されない	Windows XP Service Pack 1 または 2 をインストールしていない状態で、パソコンに Windows Media Player 10 をインストールした	Windows Media Player 10 をアンインストールして、Service Packをインストールした後、もう一度付属のCDで Windows Media Player 10 をインストールしてください。
	本機が正しく認識されていない。「不明なデバイス」としてパソコンに残っている	パソコンの[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]－[ハードウェア]タブを表示して、デバイスマネージャーをクリックしてください。デバイスマネージャーに「不明なデバイス」が表示されていたら、削除してください。本機をパソコンから外してパソコンを再起動し、正しく起動したことを確認後、本機を再度接続してください。
容量の大きなファイルを本機からパソコンに取り込めない。	パソコンの環境により、発生します	本機の電源を入れて、USBモードを「MSC」に切り替えてから、付属のUSBケーブルでパソコンに接続してください。マスストレージクラス(MSC)で接続されます。パソコンのエクスプローラ画面でファイルを取り込んでください。

■ パソコンとの接続(つづき)

症状	原因	対処
alneo Cのアップデータのボタンが有効にならない	本機がMTPで接続していない。MSCで接続されている	本機の設定メニュー-「システム」-「USBモード」を「オート」にしてください。
パソコンが起動しない	パソコンが正しく起動していないときに、本機をパソコンに接続した	本機をパソコンから外して、パソコンを正しく起動してから、本機を接続してください。

■ 録音

録音時の音量/音質や操作のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
録音の音量が大きすぎる。/音が歪む	<外部機器からの録音> 録音ボリュームが高く設定されている。録音レベルメーターの赤がひんぱんに点灯している	<外部機器からの録音> 録音ボリュームを調節して、録音レベルメーターの赤が点灯しない程度に設定してください。
	<マイク録音> ・音声モードのとき: 録音感度が「高」に設定されている。音源に近すぎる	<マイク録音> ・音声モードのとき: 録音感度を「低」に設定するか、音源から本機を遠ざけて設置し、録音レベルメーターの赤が点灯しない程度にしてください。
	・音楽モードのとき: 録音ボリュームが高く設定されている。録音レベルメーターの赤がひんぱんに点灯している	・音楽モードのとき: 録音ボリュームを調節して、録音レベルメーターの赤が点灯しない程度に設定してください。

■ 録音(つづき)

録音時の音量/音質や操作のトラブルに関する対処方法を説明します。

症状	原因	対処
録音の音量が小さすぎる。/音が途切れる	<外部機器からの録音> 録音ボリュームが低く設定されているか、または、外部機器のヘッドホン端子と接続している場合は、外部機器の音量が低く設定されている。 録音レベルメーターの振れが少ない	＜外部機器からの録音＞ 録音ボリュームを高めに調節してください。外部機器のヘッドホン端子と接続している場合は、外部機器の音量を高めに設定してください。
	＜マイク録音＞ ・音声モードのとき: 録音感度が「低」に設定されている。音源より遠すぎる	＜マイク録音＞ ・音声モードのとき: 録音感度を「高」に設定するか、音源に本機を近づけて設置してください。
	・音楽モードのとき: 録音ボリュームが低く設定されている。 録音レベルメーターの振れが少ない	・音楽モードのとき: 録音ボリュームを高めに調節してください。

■ 録音(つづき)

症状	原因	対処
オートトラック機能がうまく働かない	録音レベル、無音検出時間、無音検出レベルが適切に設定されていない	本機の録音レベル、無音検出の時間、無音検出レベルを適切に設定してください。外部機器のヘッドホン端子と接続している場合は、外部機器の音量を適切に設定してください。
テープからの外部録音で、無音部分でオートトラック機能が働かない	再生側の音にノイズ(テープの場合はヒスノイズ)が大きい場合、無音の検出がされないことがあります	録音レベルを低めに設定するか、無音検出レベルを高めに設定してください。 またはトラックマークを「マニュアル」に設定し、手動でトラックマークを付けてください。

メッセージ一覧

表示窓に表示されるメッセージに応じて、次の対処方法を確認してください。

システムエラーメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
FS Critical Error	ファイルシステムに異常が発生している。	お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
SYS Error:□□ (□□:エラー番号)	システムに異常が発生している。	フォーマットもしくは「alneo Cアップデータ」を使用して「初期化」してください。それでも問題が発生する場合は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
File systemが壊れています。フォーマットしてください。	File systemが壊れています。	フォーマットしてください。
File system を修復しました。破損していたファイルは削除されました。	ファイルが破損しています。	破損していたファイルを自動で本機から削除しました。
ディスクチェック中	ファイルシステムに問題が発生しているため、修復します。	表示が消えるまでお待ちください。問題が発生したファイルについては自動的に消去されます。

その他のメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
Battery Error ▒ が表示される	内蔵充電池に異常が発生している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
System File Error	システムファイルがない。	「alneo Cアップデータ」を使って、「初期化」してください。
電池切れ	本機の電池残量がない。	本機を充電してください。
充電中　お待ちください	充電中ですが、まだ本機を動作することができません。	もうしばらく、充電を継続してください。

その他のメッセージ

表示メッセージ	内容	対処
Low Temp. （ を表示）	本機の温度が低い。	温度が動作可能範囲(0℃～40℃)に上がるまでお待ちください。
High Temp. （ を表示）	本機の温度が高い。	温度が動作可能範囲(0℃～40℃)に下がるまでお待ちください。
ライセンスがありません。PCと再同期してください	ライセンスの切れた配信曲を再生しようといている。	パソコンと同期をとり、ライセンスを取得してください。
再生出来ません	再生できない音楽ファイルを再生しようとしている。	このファイルをスキップして、次のファイルを再生してください。
表示出来ません	表示できない画像ファイルを表示しようとしている。	◁/▷ボタンで別のファイルにスキップできます。
録音を終了しました	自動で録音を停止した。	必要な場合は、再度録音してください。
空き容量がありません	メモリーの空き容量がなくなった。	ファイルを消して空き容量を増やしてください。
最大録音時間を超えました	24時間以上録音を続けた。	再度録音してください。
最大トラック数を超えました	トラックマークで999ファイル作成した。	再度録音してください。
Format Storage？	ファイルシステムに問題が発生している。	強制的にフォーマットします。◯を押すとフォーマットが実行されます。すべてのデータが消去されます。
最大登録数を超えました	トラック、ファイル、ディレクトリの最大数を超えた。	本機からデータを削除してください。
名前を変更できません。同じファイル名が存在します。	既にあるファイル名に変更しようとしている。	まだ使用していないファイル名に変更してください。
ライセンスが最大登録数を超えました。これ以上登録できません。	ライセンスが最大登録数を超えている。	ライセンスを消去してください。ライセンスを消去するにはフォーマットが必要です。(⇨77ページ)
充電が中断されました	パソコンが休止、スタンバイになっているため、充電ができなくなっている。	パソコンが休止、スタンバイにならないよう、パソコンの電源設定を変更してから充電してください。

リセットする

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。保存しているデータは削除されません。(時計、日付設定はリセットされません。)

■ 手順1の画面

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「設定」メニューを選び、◯を押す

設定画面が表示されます。

2 △/▽で「リセット」を選び、◯を押す

確認のメッセージが表示されます。

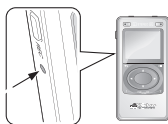
3 ◁/▷で「YES」を選び、◯を押す

リセットが実行されます。

■ 操作を途中でやめるには

上記の手順3で「NO」を選び、◯を押す

■ 本機が動作しなくなったときは

1 先の細いもの(ピンやまっすぐに伸ばしたペーパークリップなど)で本機の左側面のリセットボタンを押す

ご注意

パワーオフ時、「終了します」、「DB更新中」メッセージが表示されている間は、リセットボタンを押さないでください。本機のメモリが破壊されることがあります。

本機のメモリを初期化する(フォーマット)

本機のメモリを初期化(フォーマット)できます。初期化すると、記録された音楽/音声ファイルや画像データはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 トップメニュー画面から、◁/▷/△/▽で「設定」メニューを選び、◯を押す

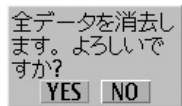
設定画面が表示されます。

■ 手順1の画面

2 ◁/▷/△/▽で「システム」—「フォーマット」を選び、◯を押す

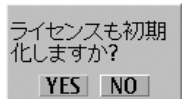
3 ◁/▷で「YES」を選び、◯を押す

■ 手順3の画面

全データを消去します。よろしいですか?
YES NO

4 (ライセンス付き音楽ファイルが含まれている場合)◁/▷で「YES」または「NO」を選び、◯を押す

ライセンス消去確認画面が表示されます。
「YES」を選ぶと、配信音楽ファイルのライセンス情報が消去されます。
「NO」を選ぶと、配信音楽ファイルのライセンス情報は消去せずに、フォーマットします。

■ 手順4の画面

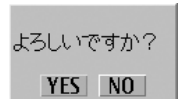
ライセンスも初期化しますか?
YES NO

5 ◁/▷で「YES」を選び、◯を押す

メモリが初期化されます。

■ 手順5の画面

よろしいですか?
YES NO

■ トップメニュー画面に戻るには

↩ を押しつづける

音楽ファイルと転送時のUSBモードについて

本機は、USBモードを「オート」または「MSC」に切り替えることができます。転送する音楽ファイルの種類により、転送時にUSBモードを切り替える必要があります。USBモードを切り替える方法については、「USBモードを切り替える」(⇨29ページ)を参照してください。

種類	USBモード
MP3、WMA/WMA-DRM10、WAV	オート
AAC	MSC

通常は、「オート」(お買い上げ時の設定)のままご使用ください。USB接続時に、本機のUSBモードが「オート」に設定されている場合は、MTP優先で自動認識されます。「MSC」はUSBマスストレージクラスとして認識されます。

ご注意

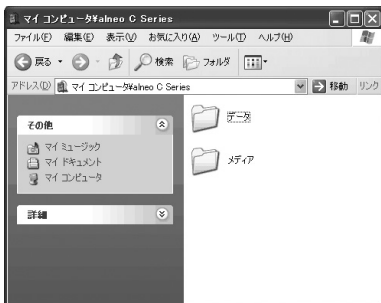
- AACファイルを本機に転送するときは、USBモードを「MSC」に切り替えてください。AACファイルの転送については、29ページと、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を参照してください。
- WMA-DRM10(著作権保護付)に対応した曲を転送するときは、USBモードを「オート」に切り替えてください。

USBモードとフォルダの表示について

USBケーブルで本機をパソコンに接続したときに、USBモードの設定が「オート」か「MSC」かで、本機のフォルダ構成の表示が変わります。

■「オート」のとき

■「MSC」のとき

付録

メニューとサブメニューの内容

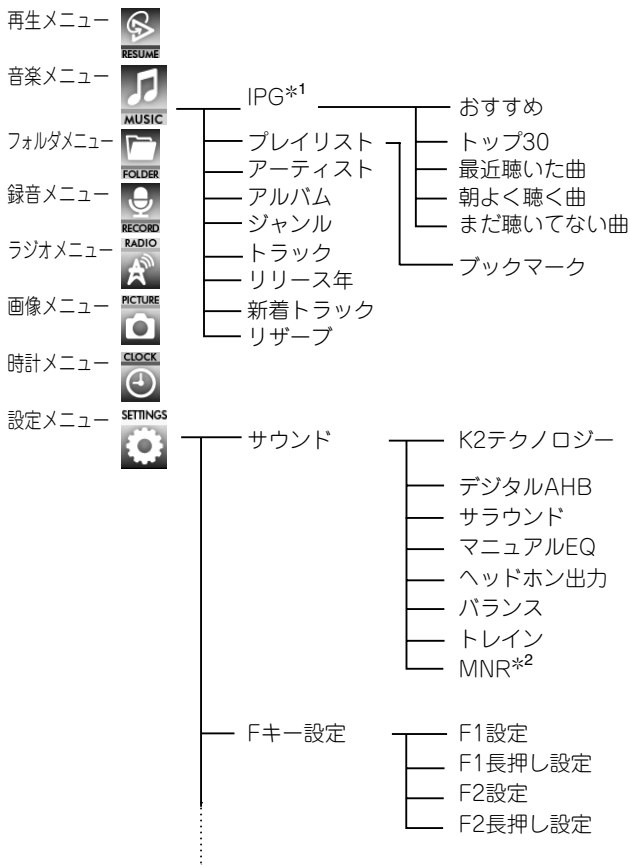
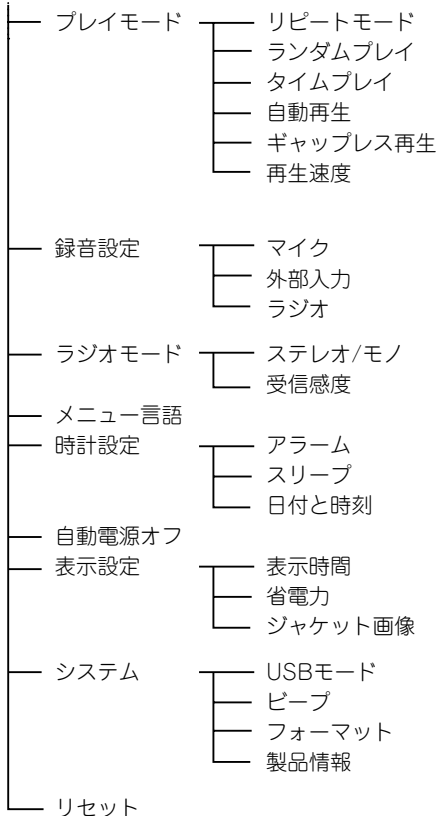
メニューの内容と切り替え

◁/▷/△/▽でメニューを選び、◯で各メニューを表示します。
トップメニューを表示するには、⇐を押しつづけます。

■ トップメニューの項目

再生メニュー	前回停止した位置から再生します。
音楽メニュー	音楽ファイルを表示/再生します。
フォルダメニュー	音楽/録音フォルダ、ファイルを表示/再生します。
録音メニュー	内蔵マイク/外部機器からの曲を録音します。
ラジオメニュー*1	FM放送を受信/録音します。
画像メニュー*2	本機に転送した画像を表示します。
時計メニュー	現在日時を表示します。
設定メニュー	音質、プレイモード、録音、日時などを設定します。

*1 LINE IN 端子にケーブルを接続していると、ラジオ画面は表示されません。
*2 本機に画像ファイルが保存されていないと、画像画面は表示されません。

トップメニュー項目のメニュー項目階層

メニューとサブメニューの内容(つづき)

これらの機能と他のメニューをお使いになるときは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を参照してください。

*1 IPG:インテリジェント・プレイリスト・ジェネレーター

*2 MNR:マルチバンド・オプティマム・ノイズリダクション

サブメニュー一覧

サブメニューの表示の仕方 → 各メニュー階層に入ってから本機の◯を押しつづけ、◁/▷で項目を選ぶ。
*がついている項目は、◁/▷/△/▽で項目を切り替えて表示してください。
サブメニューがない階層もあります。サブメニューを表示させる場所によって表示されるアイコンは異なります。

メニュー	アイコン名	アイコン		内容
音楽/フォルダ	ブックマーク		ブックマーク/新規ブックマーク *	ブックマーク/新規ブックマーク登録
	リザーブ		リザーブ/新規リザーブ *	リザーブ/新規リザーブ登録
	リピート		リピートオフ/1曲リピート/全てリピート/ABリピート *	リピート再生モード選択
	ランダム		ランダムオン/ランダムオフ *	ランダム再生オン/オフ
	ギャップレス		ギャップレスオン/ギャップレスオフ *	ギャップレス再生オン/オフ
	再生速度		再生速度 速く/再生速度 標準/再生速度 遅く *	再生時の速度 速く/標準/遅く 切り替え
	ジャケット		ジャケットオン/ジャケットオフ *	再生画面のジャケット表示オン/オフ
	削除		削除	選択されている項目を削除
	プロパティ		プロパティ	音楽ファイルのプロパティ表示
	選択		選択オン/選択オフ *	項目の選択オン/オフ
	全て選択		全て選択/選択反転 *	項目を全選択/選択した項目を反転

メニューとサブメニューの内容(つづき)

メニュー	アイコン名	アイコン		内容
音楽/フォルダ	再生		再生	ジャンル/アーティスト/アルバム/プレイリスト再生のように、複数の曲をグループ単位で選択し再生します。
	移動		移動	ブックマークリスト内での曲を移動。ブックマーク以外での移動はできません。
	プレイリスト保存		プレイリスト保存	ブックマークした曲をプレイリストとして保存
	名前変更		プレイリスト/IPG、「Record」フォルダの下のフォルダ/録音ファイルの名前変更 *	IPG、ブックマークから作成したプレイリスト、および「Record」フォルダの下のフォルダ/録音ファイルの名前を変更します。それ以外の名前変更はできません。
	iサーチ		iサーチ	検索したいファイルが含まれている項目でアーティスト名、アルバム名、曲名などの先頭文字から絞り込み検索します。
	新規追加		IPG新規追加/編集 *	IPGの条件を新規作成、編集
	クリア		IPGクリア	IPGの条件をクリア

メニュー	アイコン名	アイコン		内容
録音	マイクソース		音声/音楽 ＊	内蔵マイク録音のソース切り替え
	品質		PCM(FMを除く)/HQ/SP/LP/EP(FMを除く) ＊	録音品質切り替え
	トラックマーク		マニュアルトラック/オートトラック ＊	トラックマークの自動、手動切り替え
	ウィンドカット		ウィンドカットオフ/ウィンドカットオン ＊	ウィンドノイズカットのオン、オフ
	感度		感度 低/感度 高 ＊	音声録音時の感度低/高 切り替え
	VAC		VACオフ/レベル低/レベル高 ＊	音声録音時の無音検出オフ/レベル低/レベル高切り替え

メニューとサブメニューの内容(つづき)

メニュー	アイコン名	アイコン		内容
ラジオ	チャンネルセット		チャンネルセット	プリセットチャンネル選局登録
	マニュアルモード		マニュアルモード	手動選局
	プリセットモード		プリセットモード	プリセット選局
	オートプリセット		オートプリセット	選局自動登録
	ステレオ		ステレオ/モノ ＊	ステレオ/モノ 切り替え
	受信感度		受信感度 標準 /受信感度 高 ＊	選局時のレベル設定切り替え
	セット		セット	登録セット
	クリア		クリア	登録クリア
画像	スライドショー		スライドショー	スライドショー再生
	削除		削除	選択されている項目を削除
	選択		選択オン /選択オフ ＊	項目の選択 オン/オフ
	すべて選択		すべて選択 /選択反転 ＊	項目を全選択/ 選択した項目を反転

サウンド設定項目

項目	設定内容(●:お買い上げ時の設定)	
K2テクノロジー	デジタル圧縮による劣化を補正し、元の音質に近い音質を再現します。	
	オフ	通常の音質になります。
	●ナチュラル (白)	様々な音楽ジャンルで効果を発揮し、特にボーカルやアコースティック楽器を使った音楽に適しています。
	ダイナミック (オレンジ)	音の解像度を高め、ロックやポップスの音楽でメリハリの効いた音を楽しむことができます。
デジタルAHB	●オン	クリアで迫力のある重低音を楽しめます。
	オフ	通常の音質になります。
サラウンド	●オフ	通常の音質になります。
	エナジー	エネルギッシュな臨場感を再現します。
	クリスタル	透明感のある響きを楽しめます。
	ハートフル	包み込むような広がりのある響きを楽しめます。
	サブウェイ	地下鉄など、騒音の大きな場所でも聴きやすい音で再生します。
マニュアルEQ	●オフ	通常の音質になります。
	EQ1	5バンドマニュアルイコライザーで、好みに合わせて音質を細かく設定できます。設定は5つまで記憶できます。
	EQ2	
	EQ3	
	EQ4	
	EQ5	
ヘッドホン出力	●標準	ボリュームレベルを0～30で設定できます。
	高	ボリュームレベルを0～40で設定できます。
バランス	●ステレオ	ステレオモードで再生します。
	モノ	モノラルモードで再生します。
	Lch/Rch	左右の音のバランスを調節します。

サウンド設定項目(つづき)

項目	設定内容(●:お買い上げ時の設定)	
トレイン	オンTr	シャカシャカ音(高音部)をカットして、電車内での迷惑な音漏れを低減します。
	●オフ	通常の音質になります。
MNR(マルチバンド・オプティマム・ノイズリダクション)	バックグラウンドノイズ等のノイズレベルを低減し、音楽・音声を聴きやすくします。	
	●オフ	通常の音質になります。
	音楽 MNR(白)	古いアナログ音源やライブ音源、LINE IN 端子からダイレクト録音した音楽ファイルの再生に適しています。
	音声 MNR(オレンジ)	マイクやラジオから録音した音声ファイルの再生に適しています。

- 「デジタルAHB」、「サラウンド」、「マニュアルEQ」、「トレイン」は、同時に設定することはできません。いずれか1つを選んで設定してください。
- ヘッドホン出力を「高」に設定しているときに「デジタルAHB」、「サラウンド」、「マニュアルEQ」を設定すると、ヘッドホン出力が自動的に「標準」に設定されます。
- ヘッドホン出力の設定は、付属のヘッドホン以外のものをご使用になる場合に音量を上げて使用したいときに設定してください。
- 「サラウンド」を設定しているときに、「バランス」で「モノ」を選択すると、「サラウンド」は「オフ」になります。
- 「MNR」を設定すると、「K2テクノロジー」、「デジタルAHB」、「サラウンド」、「マニュアルEQ」、「トレイン」は、「オフ」になります。

保証とアフターサービスについて

必ずお読みください

保 証 書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保 証 期 間 中 は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎(　　)　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

本機を廃棄するときのご注意

⚠ 危険

■ 内蔵充電池につよい衝撃を与えない

・ 電極がショートすると、発熱･破裂･発火する原因となります。

■ 内蔵充電池を金属製のヘアピンなどと一緒にポケットに入れたり、保管したりしない

・ 電極がショートすると、発熱･破裂･発火する原因となります。

■ 内蔵充電池を加熱したり、分解改造したり、火や水の中に入れない

・ 破裂･発火･発熱によって、火災やけがの原因となります。

■ 火のそばや炎天下などに放置しない

・ 熱器具の近くなどに放置しないでください。破裂･発火･発熱によって、火災やけがの原因となります。

⚠ 警告

■ 内蔵充電池は幼児の手の届くところに放置しない

・ 事故やけがの原因となります。

■ 内蔵充電池の液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の診療を受ける

・ そのままにしておくと、目に障害をきたす原因になります。

■ **充電式電池について**

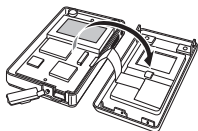
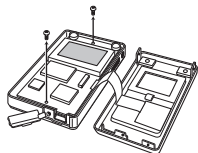
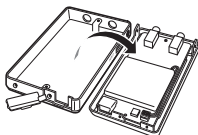
ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

本機を廃棄するときは、内蔵充電池を取り外してください。また、取り外した内蔵充電池は、環境保護のためリサイクル協力店などにお持ちください。

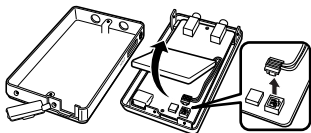
充電池を取り外す

1 電源を切る

2 側面のネジ(4箇所)を外す

3 カバーを持ち上げて取り外す

4 基板のネジ(2箇所)を外す

5 基板を持ち上げて取り外す

本機を廃棄するときのご注意(つづき)

6 基板からコネクターを外し、内蔵充電池を取り外す

ご注意

内蔵充電池は両面粘着テープで基板に固定されています。
取り外す際に、内蔵充電池のラミネートパック(内蔵充電池はラミネートパックで覆われています)を破損しないようにしてください。
液もれなどの原因になりますので、ご注意ください。

7 コネクター部分を内蔵充電池側に貼りつけ、ポリ袋などに入れる

ご注意

- 内蔵充電池の交換は販売店やビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 一度取り外した充電池は再使用しないでください。
- 取り外した内蔵充電池は、ご注意をよくお読みになったうえで、すみやかに充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

仕様

型名	XA-C210-S/-B/-W	XA-C110-S/-B/-W	XA-C51-S/-B/-W
形式	デジタルオーディオプレーヤー		
内蔵メモリー容量 *1	2GB	1GB	512MB
最大保存曲数 (WMA 64kbps 4分/1曲)	約980曲	約480曲	約220曲
再生対応 フォーマット *2	MP3(8kbps～320kbps, 8kHz～48kHz, VBR)/WMA(8kbps～320kbps, 8kHz～48kHz, VBR)/WMA-DRM10/AAC(8kbps～320kbps, 44.1kHz・48kHz, VBR)/WAV(16bit, リニアPCM)		
録音対応 フォーマット	EP:WMA(32kbps, 44.1kHz, モノ)/LP:WMA(64kbps, 44.1kHz, ステレオ)/SP:WMA(96kbps, 44.1kHz, ステレオ)/HQ:WMA(128kbps, 44.1kHz, ステレオ)/PCM:WAV(16bit, 44.1kHz, ステレオ)		
画像対応フォーマット	JPEG対応、プログレッシブJPEG非対応		
FM受信周波数	76.0MHz～90.0MHz(TV:1CH～3CH)		
マイク録音	内蔵マイク×2		
インターフェース	ヘッドホン(ステレオミニジャック)×1　14Ω～47kΩ LINE IN(ステレオミニジャック)×1、USB 2.0 HS(mini-B)×1		
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ		
再生周波数特性	30Hz～20kHz		
実用最大出力	11mW+11mW(JEITA *3/DC)32Ω		
最大入力レベル	2Vrms 47kΩ		
動作温度	0℃～40℃		
最大外形寸法	幅44.8mm×高さ86.3mm×奥行き12.3mm 幅44.0mm×高さ86.0mm×奥行き11.7mm(突起部を含まず)		
質量	49g		
電源	内蔵リチウムイオン充電池		
充電時間	最大約3時間 5V/500mA 供給可能なUSBポートまたは、専用のUSB ACアダプター(AA-R511)を使用してください。		

• 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聴くことはできません。

仕様(つづき)

電池持続時間

再生時(JEITA ＊3)	MP3(128kbps/44.1kHz)		約19.5時間
	WMA(128kbps/44.1kHz)		約18.5時間
	AAC(128kbps/44.1kHz)		約15時間
	PCM		約21.5時間
	FM		約15.5時間
録音時	LINE IN	WMA(128kbps)	約15時間
		PCM	約18時間
	MIC	WMA(128kbps)	約12時間
		PCM	約15時間
	FM	WMA(128kbps)	約11時間

- 録音時の電池持続時間は計算値です。実際の録音時間は録音品質とメモリ容量により異なる場合があります。
- 上記は、満充電時の連続動作時間です。周囲の温度や使用状況により、動作時間は異なる場合があります。
- 電池持続時間/記録時間は、「サウンド設定:オフ」、「表示設定:省電力モード」に設定されているときの目安です。著作権保護されたコンテンツの再生を除きます。

録音時間

		XA-C210(2GB)	XA-C110(1GB)	XA-C51(512MB)
LINE IN	LP(64kbps)	約66時間	約32時間	約14時間
	SP(96kbps)	約44時間	約21時間	約10時間
	HQ(128kbps)	約33時間	約16時間	約7時間
	PCM	約3時間	約1.5時間	約40分
MIC	EP(32kbps) ＊4	約133時間	約65時間	約29時間
	LP(64kbps)	約66時間	約32時間	約14時間
	SP(96kbps)	約44時間	約21時間	約10時間
	HQ(128kbps)	約33時間	約16時間	約7時間
	PCM	約3時間	約1.5時間	約40分
FM	LP(64kbps)	約66時間	約32時間	約14時間
	SP(96kbps)	約44時間	約21時間	約10時間
	HQ(128kbps)	約33時間	約16時間	約7時間

再生楽曲収録時間

MP3/WMA(1曲4分)	XA-C210(2GB)	XA-C110(1GB)	XA-C51(512MB)
320kbps	約13時間 約200曲	約6.5時間 約95曲	約3時間 約45曲
256kbps	約16時間 約245曲	約8時間 約120曲	約3.5時間 約55曲
192kbps	約22時間 約330曲	約11時間 約160曲	約5時間 約75曲
160kbps	約26時間 約390曲	約13時間 約190曲	約6時間 約90曲
128kbps	約33時間 約490曲	約16時間 約240曲	約7.5時間 約110曲
96kbps	約43時間 約650曲	約21時間 約320曲	約10時間 約145曲
64kbps	約66時間 約980曲	約32時間 約480曲	約15時間 約220曲
32kbps	約130時間	約64時間	約30時間

- 時間、曲数は参考値です。

*1 メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示より少なくなります。
*2 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR:可変ビットレート
*3 JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
*4 モノラル録音です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ
http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0107NSMCREJEM